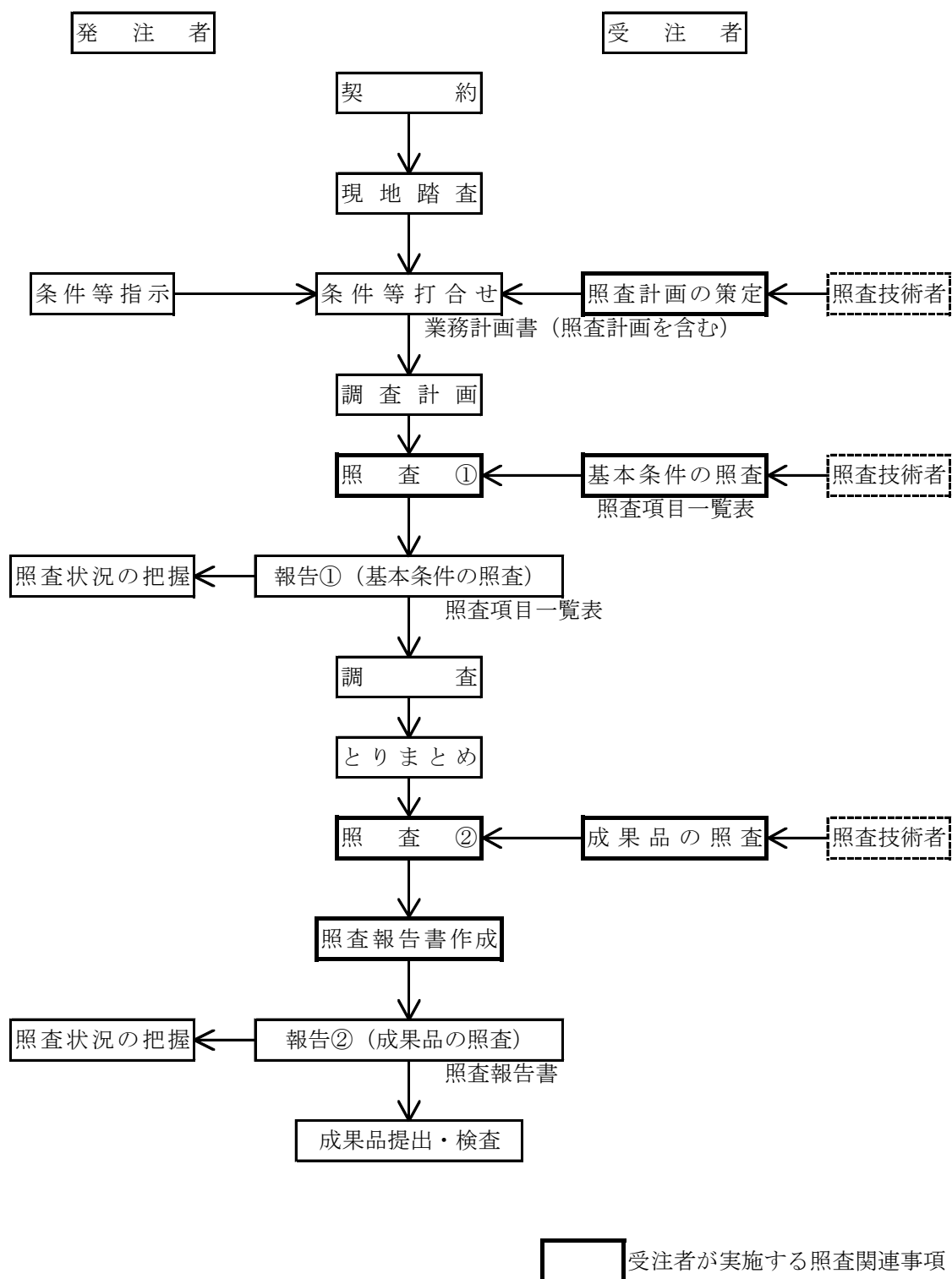


土 質・地 質 調 査 照 査 要 領

平成 2 9 年 1 0 月

土質・地質調査照査フローチャート



注 記 ※ 工程に関わる照査・報告①②の時期は、業務計画書提出時に打ち合わせにより設定する。

基本条件の照査項目一覧表

(照 査 ①)

業 務 名 : _____

発 注 者 名 : _____

受 注 者 名 : _____

照査の日付： 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

No.	照査項目	照査内容		照査①			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
			該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照	
1	調査の目的、主旨、範囲	1)	調査の目的、主旨、範囲を把握したか。					
		2)	調査項目、工程等について具体的に把握したか。特記仕様書との整合、共通仕様書等は確認したか。また、スケジュール管理表を提出したか。					
		3)	調査項目で目的が達せられるか。 ・地表地質調査の範囲 ・弾性波探査の範囲 ・ボーリングの位置・方向・数量 ・サウンディングの項目 ・サンプリングの内容 ・土質試験の項目					
2	貸与資料の確認	1)	貸与資料は最新版であるか確認したか。また、不足点及び追加事項があるか確認したか。不足がある場合には、資料請求、追加調査等の提案を行ったか。					
3	現地踏査	1)	付近の環境状況を把握したか。					
		2)	支障物件の状況を把握したか。(地下埋設物を含む)					
		3)	施工時の留意事項を把握したか。					
4	安全対策	1)	安全対策は考慮したか。					
		2)	緊急時を含む連絡体制が整備されているか。					
5	協議関連資料	1)	関連機関との調整内容を確認したか。(交通の切り廻し、埋設物等)					
		2)	関連する利害関係者(地権者、利水者等)の選定は適切か。調整内容は適切か。					
		3)	身分証明書の発行が必要か。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容		照査①			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照

成 果 品 の 照 査 項 目 一 覧 表

(照 査 ②)

業 務 名 : _____

発 注 者 名 : _____

受 注 者 名 : _____

照査の日付： 平成 年 月 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
			該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6.その他記載等にわたっての留意事項」を参照	
1	共通	1)	打合せ事項は反映されているか。					
		2)	設計図書及び共通仕様書等に指示されたとおりに実施されているか。					
		3)	工事発注に際しての留意事項が記述されているか。					
		4)	試験方法は適切か。					
		5)	数値基準を技術指針等より引用している場合には、出典図書名及びページを明記しているか。					
		6)	成果品に不足はないか。					
		7)	富山県電子納品運用ガイドライン（案）（土木調査設計業務編）に則った電子納品となっているか。					
2	地表地質調査	1)	調査区域内の踏査経路、露頭地点、野帳記載地点、試料採取地点等もれなく記入されているか。					
		2)	調査項目は網羅されているか。 ・地形地質の種類 ・地質構造 ・地質時代 ・岩の硬さ、割れ目、風化、変質 ・破碎帯 ・地すべり及び崩壊 ・鉱山及び古洞 ・温泉 ・地下水及び湧水等 ・亀裂、段落ち、陥没、押し出し ・構造物の変状、樹木の変形発育 ・土地利用の実態 ・地下利用の実態					
3	弾性波探査	1)	調査位置、方向は適切か。					
		2)	後日、調査位置が確認できるようになっているか。					
		3)	解析断面図に既存資料(ボーリング調査結果)が図示されているか。					
		4)	速度層の区分と土質地質との関係についての判定が適切か。					
		5)	地下構造についての総合的な考察は適切か。					

成果品の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
			該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照	
4	ボーリング 位置、口径、 深度等 掘削状況の確認	1)	調査位置、方向、数量は適切か。					
		2)	調査目的に見合った口径であるか。					
		3)	調査目的に見合った深度まで調査されているか。					
		4)	後日、調査位置が確認できるようになっているか。					
		5)	地下水位が確認できるまで、無水掘りされているか。					
		6)	孔口が保護されているか。					
		7)	孔壁の崩壊の恐れがある場合、防止措置が講じられているか。					
		8)	原位置試験、サンプリングを行う場合、孔底のスライムが処理されているか。					
		9)	掘削状況の変化が記録されているか。					
		10)	排出されたスライムとコアは、一致しているか。					
		11)	孔内水位の変化が記録されているか。					
	採取したコア観察 調査結果	12)	コアボーリングの場合、土質に応じたサンプラーが用いられているか。					
		13)	適切にコアの採取が行われているか。					
		14)	掘削深度の確認が行われているか。					
		15)	コア箱に調査名、地点名及び深度が明記されているか。					
		16)	コアとコア写真の照合がなされているか。					
		17)	コアの性状を判定した根拠についての記述があるか。					
		18)	地質柱状図及びその資料を基にして作成した調査地域一帯の地質図がまとめているか。					
5	サウンディング	1)	試験方法は適切か。 標準貫入試験 JIS A 1219 スウェーデン式サウンディング試験 JIS A 1221 オランダ式二重管コーン貫入試験 JIS A 1220 ポータブルコーン貫入試験 JGS 1431 簡易動的コーン貫入試験 JGS 1433					
6	サンプリング	1)	採取位置、量、深度、頻度は適切か。					
		2)	調査目的に見合った採取方法か。(乱した試料、乱さない試料)					
		3)	採取試料の保管状況					

成果品の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
7	土質試験	1)	試験方法は適切か 土粒子の比重試験 JIS A 1202 土の含水量試験 JIS A 1203 土の粒土試験 JIS A 1204 土の液性限界・塑性限界試験 JIS A 1205 土の細粒分含有率試験 JIS A 1233 土の収縮定数試験 JIS A 1209 室内における土の単位体積重量試験 土質試験法 現場における土の単位体積重量試験 JIS A 1214 砂の最小密度・最大密度試験 JIS A 1224 突固めによる土の締固め試験 JIS A 1210 土のC B R 試験 JIS A 1211 締め固めた土のコーン指数試験 JIS A 1228 土の透水試験 J1S A 1218 土の圧密試験 J1S A 1217 土の一面せん断試験 土質試験法 土の一軸圧縮試験 J1S A 1216 土の三軸圧縮試験 土質試験法 道路の平板載荷試験 J1S A 1215					
		2)	異常データが、含まれていないか。					




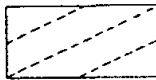

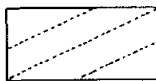

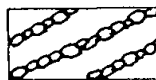



成果品の照査項目一覧表（様式－２）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容		照査②			確認資料	備考
				該当対象	確認			
						確認日		
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入	確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	設計業務等照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照

付表 土及び岩石等の表示記号

土の表示記号
土の表示記号は下記を標準とする。また、電子納品を行う場合は、「地質・土質調査成果電子納品要領(案)」に従い表示するものとする。

主記号		副記号（混り）	
	表 土		粘 土 混 り （質）
	粘 度 Clay		シ ル ト 混 り
	シ ル ト Silt		砂 混 り
	砂 Sand		礫 混 り
	礫 Graval		腐 植 物
			埋 木

柱状図岩相表示法

○地質名および岩相一現場での観察状況を記す。腐植物などがまじっているときはこれらの記号と泥・砂の記号をかさねて表示する。

岩石の表示記号

岩石の記号は下記を標準とする。但し、電子納品する場合は、電子納品運用ガイドライン(案)に従い表示するものとする。

イ) 記号

名 称	文 字	記 号	名 称	文 字	記 号
集 塊 岩	Ag		礫 岩	Cg	
石 灰 岩	Ls		角 礫 岩	Bc	
珪 岩	Qt		泥 岩	Ms	
頁 岩	Sh		砂 質 頁 岩	s・Sh	
砂 岩	Ss		凝 灰 岩	Tf	
安 山 岩	An		玄 武 岩	Bs	
輝 緑 岩	Db		閃 緑 岩	Dr	
斑 レ イ 岩	Gb		花 崗 岩	Gr	
橄 ラ ン 岩	Pr		玢 岩	pf	
蛇 紋 岩	Sp		接 触 変 成 岩 類	Cm	
片 麻 岩	Gn		千 枚 岩	ph	
片 晶 片 岩	Sc		粘 板 岩	Sl	
石 英 粗 面 岩	Lp		石 英 斑 岩	Gp	

ロ) 色彩

- ①古い地層の着色は濃く、新しい着色ほど順次淡くする。
- ②相隣れる地層系統の着色は互いに近似のものを用いるが互いに混同しないようにする。
- ③中生代及び第三紀層の着色は太陽スペクトルの原色を用い、古生代の地層の着色は混合色を用いる。
- ④着色はできる限り岩層の性質を表現するようにする。火成岩の着色には濃色を用い、酸性岩は紅色、塩基性岩は紫または緑色を用いる。

ハ) 地質地代による岩石の文字記号

名 称	文 字	名 称	文 字
第 四 紀	Q	第 四 紀 沖 積 世	Qa
第 四 紀 更 新 世	Qp	第 三 紀	T
第 三 紀 中 新 世	Tm	第 三 紀 始 新 世	Te
先 第 三 紀	PrT	中 世 代	Mz
白 垩 紀	K	ジ ュ ラ 羅 紀	J
三 疊 紀	R	古 生 代	Pz
二 疊 紀	P	石 炭 紀	C

ニ) 地質記号

地質構造の記号は下記を標準とする。

名 称	記 号	名 称	記 号
走 向、傾 斜		造岩石の種類境界	
断 層		断 層 破 碎 帯	
推 定 断 層		逆 転 地 層	
傾 斜 不 定		水 平 層	
直 立 層		盆 状 構 造	
背 斜 軸		ド ー ム 状 構 造	
向 斜 軸		斜 坑	
試 掘 堅 坑		横 坑	
ト レ ン チ		崩 壊 地	
石 切 場		湧 泉	
自 噴 井		井 戸	
旧 坑 (鉱 山)		鉱 山	
化 石 産 地		動 物 化 石	
植 物 化 石			